

5

マネジメントサイクルの 展開と取組の重点化

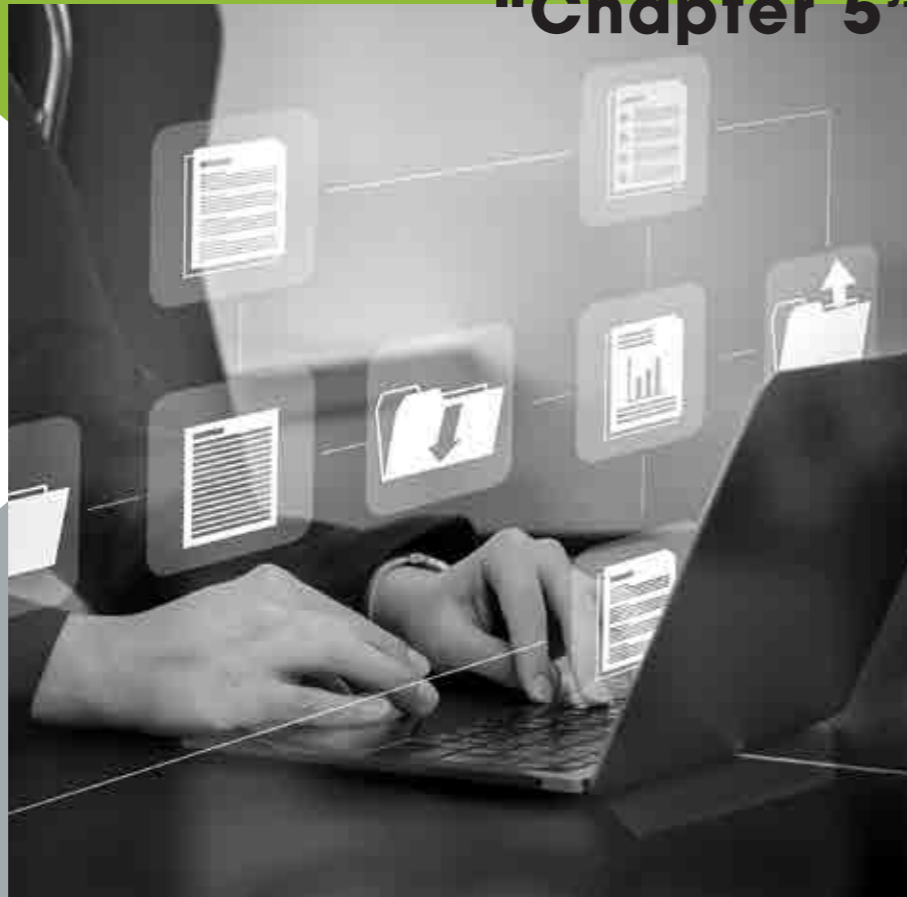
—————	150
政策点検及び提言	151
機動的で実行力のある「取組の重点化」	152
事業の企画・立案及び機動的な実施	153

第5章 マネジメントサイクルの 展開と取組の重点化

政策・施策体系に基づく取組の成果や課題について毎年度検証し、その結果を次の効果的な企画立案につなげるため、マネジメントサイクルを展開します。

Aomori Prefectural Government Master Plan

“Chapter 5”



1 政策点検及び提言

政策・施策体系に沿って取組の成果を検証するとともに、課題と今後の方向性を分析した上で、大局的・専門的な視点から翌年度県が重点化すべき取組を検討するため、

- 1 庁内における自己点検
- 2 自己点検に係る青森県総合計画審議会の検証
- 3 青森県総合計画審議会から知事への提言

を毎年度実施します。

庁内における自己点検及び青森県総合計画審議会の検証に当たっては、「あおり創生総合戦略」に掲げる基本目標及び重要業績評価指標(KPI)の検証、各政策に関連する個別計画に掲げる数値目標、その他関連する指標の状況などにより現状を客観的に確認することとし、点検結果は公表します。

2 機動的で実行力のある「取組の重点化」

近年の本県を取り巻く状況は、コロナ禍や急激な物価高騰など、常に大きく変化し続けています。

そのため、政策の実行に当たっては、随時、社会経済情勢や世界情勢、国・市町村等の政策動向、成果阻害要因の発生状況や県民意識の変化等を的確に把握・分析して、本県のめざす姿の実現に向けた最適解を選択し、アジャイル⁴⁷に対応していく必要があります。

このことから、本計画に基づく施策の展開に当たっては、毎年度、社会経済情勢等の変化への対応を的確に反映した「取組の重点化」の基本方針^{ウーダ}を策定し、優先的に取り組む内容や強化すべき部分等のポイントを、知事から各部局等に対し指示します。

「取組の重点化」の基本方針^{ウーダ}の策定に当たっては、前頁1の政策点検結果を勘案し、提言を尊重することとします。

47 アジャイル (Agile): 変化に対応して機敏に対応する様のことです。

3 事業の企画・立案及び機動的な実施

庁内各部局等は、「取組の重点化」の基本方針^{ウーダ}を踏まえ、政策・施策体系に沿って取組(事業)を企画・立案し、実施します。

取組(事業)の企画・立案に当たっては、エビデンスに基づき、現状や将来に対する的確な分析と課題設定を行い、多様な主体と連携・協働し、費用対効果の高い手段を選択するなど、確実な成果の発現に向けた工夫を行う必要があります。

また、取組(事業)の実施に当たっては、年度中の状況変化にも柔軟・機動的に対応していくため、いわゆる「OODAループ⁴⁸」の手法を活用し、具体の行動内容の決定に先立ち、データの検証・分析により、その時点で最も適切と思われる取組の方向性を見定め、決断・実行し、実行により得られたデータを踏まえた軌道修正を繰り返し、適宜予算の見直し等も行いながら、成果につなげていくこととします。

48 OODAループ: O(Observe: 観察する)、O(Orient: 方向づける)、D(Decide: 決断する)、A(Act: 実行)のサイクルによる軌道修正を短期的に繰り返す、機動力を重視した意思決定手法のことです。見通しの立たない状況における目標達成に有用とされています。

マネジメントサイクル概略図

